

IV 「新しい夢・希望」

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、県内外から選ばれる、魅力ある茨城（IBARAKI）づくりを推進します。



1.6 魅力発信No.1プロジェクト

- (1)「茨城の魅力」発信戦略
- (2)県民総「茨城大好き！」計画



| | |
|-------------------------------|----------------------|
| 75. 本県情報のメディアへの掲載による 広告換算額 | 76. 茨城県に「愛着を持つ」県民の割合 |
| 2020年 101億円 | 2020年 72.1% |
| ▶ | ▶ |
| 2025年 170億円 | 2025年 80% |



1.7 世界に飛躍する茨城へ

- (1)世界に広がるIBARAKIブランド
- (2)世界に挑戦するベンチャー企業の創出（茨城シリコンバレー構想）



| | |
|-----------------------|---|
| 77. 農林水産物及び工業製品等の輸出入額 | 78. ベンチャー企業が行った3億円/回以上の 資金調達件数（経年累計）【再掲】 |
| 2020年 103億円 | 2020年 8件 |
| ▶ | ▶ |
| 2025年 198億円 | 2025年 30件 |



1.9 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

- (1)先端技術による社会変革やデータの活用加速化
- (2)スマート自治体の実現に向けた取組みの推進



1.8 若者を惹きつけるまちづくり

- (1)若者に魅力ある働く場づくり
- (2)若者を呼び込む茨城づくり



| | | | |
|------------------------------------|--|----------------------------------|--|
| 80. 大学・高校卒業者の県内企業等 への就職者数（期間累計） | 81. 本社機能移転に伴う県外からの 移転者・新規採用者数（期間累計） | 82. 本社機能等の移転等に伴う 新規立地件数（期間累計） | 83. 関係人口数（地域に関心を持ち、 多様に係る「関係人口数」）（経年累計） |
| 2020年 8,267人 | 2020年 1,016人 | 2020年 126件 | 2020年 2,780人 |
| ▶ | ▶ | ▶ | ▶ |
| 2025年 33,900人 | 2025年 1,360人 | 2025年 160件 | 2025年 8,510人 |



2.0 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

- (1)未来の交通ネットワークの整備
- (2)人にやさしい、魅力あるまちづくり



| | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------|----------------------------|
| 85. 県管理道路の改良率 | 86. 重要港湾（茨城港・鹿島港） コンテナ取扱貨物量 | 87. 茨城空港の旅客数【再掲】 | 88. 県管理道路における通学路の 歩道整備率 |
| 2020年 77.1% | 2020年 66,496TEU | 2020年 209,000人 | 2020年 77.6% |
| ▶ | ▶ | ▶ | ▶ |
| 2025年 80.1% | 2025年 78,500TEU | 2025年 850,000人 | 2025年 80.4% |



チャレンジで描かれる近い未来の姿

IBARAKIブランドの確立

- ◆海外の友好都市等との文化・経済面での国際交流の促進や、高付加価値な県産品の海外における需要増加などによりIBARAKIブランドが形成されていきます。
- ◆郷土に愛着と誇りを持つ県民が増えていくとともに、県民自ら率先して地域の魅力を発信することで、「住みよさ」、「食の大国」としてのイメージが浸透していきます。

世界への飛躍

- ◆最先端科学技術の集積が進み、活力あるイノベーション拠点が形成され、ベンチャー企業の創出や成長の好循環を生み出すビジネス環境が構築されるなど、世界から注目されるエリアになっていきます。

まちづくり

- ◆県土の新たな発展基盤が整備されていくとともに、自動運転等の移動技術が発達し、地域間における人・モノの対流・連携が活発になっていきます。
- ◆生活に必要な都市機能の集約と地域間の連携を図りながら、歴史・伝統、芸術・文化、スポーツなど地域資源を活かした人にやさしい魅力ある地域づくりが進められていきます。

IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

政策16 魅力発信No.1プロジェクト

これまでの成果

- ◆首都圏メディア等に向けた積極的なパブリシティ活動や、アンテナショップにおける県産品のPR強化、自治体初となる公認Vtuber茨ひよりを起用した、いばキラTVでのコンテンツ配信などを実施
- ◆本県情報のメディアへの掲載による2020年度の広告換算額について、対2017年度比約1.4倍増を達成（広告換算額 2017年度71億円、2020年度101億円）
- ◆いばキラTVの2020年度の動画視聴回数が、対2017年度比約1.6倍増を達成（2020年度動画視聴回数：約4,230万回）
- ◆県公式ツイッターのフォロワー数（累計）が2017年～2020年の4年間で約1.7倍増を達成（2021年3月末のフォロワー数：161,560）
- ◆いばらき観光マイスターに延べ1,506人（2021年3月末）を認定し、宿泊施設や観光施設などで心のこもったおもてなしを実施



茨ひより(県公認Vtuber)

今後の課題

- 観光誘客及び県産品のブランド化などを一層推進するため、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた観光資源や話題性のある地域資源について、各種メディアでの露出拡大を図る必要があります。
- アンテナショップを活用した県産品のPRや、インターネットメディアの活用によるPRなど、本県の魅力発信に戦略的に取り組んでいく必要があります。
- 若年層に対する本県魅力の認知度向上のため、SNSやホームページ等を通じて県政情報や旬の情報を積極的に情報発信し、本県をより知っていただく必要があります。
- 若年層や他県からの移住者に向けた上記の施策の充実に努め、県民の郷土愛の醸成に向けて取り組む必要があります。

施策（1） 「茨城の魅力」発信戦略

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|---|--------|
| ① 観光誘客や県産品のブランド化を推進するため、テーマ・ターゲットに応じた戦略的な情報発信を行い、各種メディアでの露出拡大を図ります。 | 営業戦略部 |
| ② 厳選された茨城の逸品を国内外へ発信するため、首都圏のPR拠点、マーケティングの場としてアンテナショップの活用を推進します。 | 営業戦略部 |
| ③ 本県の魅力の認知向上と、人々の行動変容を図るため、磨き上げを進める観光資源等の動画を制作・配信するなど、インターネットを活用したプロモーションを推進します。 | 営業戦略部 |
| ④ 本県の魅力を世界へ広めるため、海外メディアでの情報発信やSNSを活用したデジタルマーケティング等により、本県の多様な地域・観光資源について話題化を促進します。 | 営業戦略部 |
| ⑤ 農林水産物や加工食品、工業製品等の新たな市場を開拓するため、海外での販売促進活動を支援するとともに、現地メディア関係者等に対して魅力を直接発信する取組等を推進します。 | 営業戦略部 |

施策（２） 県民総「茨城大好き！」計画

主な取組

主な担当部局

① 県民の本県への魅力の再認識を促すため、県広報紙「ひばり」やSNS等の媒体を活用し、特に若年層を意識した写真や動画などを積極的に配信して、本県の魅力を紹介します。

営業戦略部

② おもてなしの向上を図るため、「いばらき観光マイスター」制度の活用等を通じて、郷土への誇りと愛着を持ち、自ら率先して地域の魅力を発信できる人材の育成に取り組みます。

営業戦略部

③ 県民や子どもたちが県の魅力を発信できるよう、総合的な学習などを通して茨城を知ること、愛着心を育て、郷土の温かさや素晴らしさを再発見できる取組を推進します。

教育庁

いばキラTV 「絶景茨城」による県内観光施設の紹介



海外販路開拓の取組



海外メディアでの情報発信(台湾人気インターネットTV「木曜四超玩」)



いばらき観光マイスターによる「おもてなし」



IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

政策17 世界に飛躍する茨城へ

これまでの成果

- ◆海外における販売促進活動やビジネスマッチング等の販路開拓の取組により、農林水産物及び県支援企業の輸出額は90.8億円（2017年度）から102.7億円（2020年度）に増加、県の支援により成約した輸出商談件数は38件（2017年度）から122件（2020年度）に増加
- ◆産業技術イノベーションセンターの共同研究等支援により、企業が製品化・実用化・ビジネス創出を行った件数について、2010年度からの11年で98件となり目標値96件を達成
- ◆地域の起業支援の取組みを国が後押しするグローバル拠点都市（全国で4か所）に、県やつくば市が参加するコンソーシアムが選定（2020）



加工食品に係る
海外販路開拓の取組

今後の課題

- 更なる海外販路開拓のため、マーケティング調査等を踏まえた商品開発や海外バイヤーの需要開拓、商談支援等、市場ニーズに対応したマーケットインの取組を継続的に行っていく必要があります。
- 関係機関と連携し、ベンチャー企業の創出や成長の好循環を生み出すビジネス環境（エコシステム）を構築していく必要があります。
- 新商品・新技術開発を行う際には、製品化後の販売戦略も含めた支援が行えるように取り組んでいく必要があります。

施策（1） 世界に広がるIBARAKIブランド

主な取組

主な担当部局

- | | |
|---|----------------|
| ① 農林水産物や加工食品、工業製品等の輸出を促進するため、国際認証の取得、マーケティング調査等を踏まえた商品開発、海外バイヤーの需要開拓及び商談等の海外販路開拓を支援します。 | 営業戦略部 農林水産部 |
| ② 県のグローバル化を進めるため、人的交流や双方の製品の販路拡大などにより本県とゆかりの深い国々や海外の友好都市等との文化・経済両面での国際交流を推進します。 | 営業戦略部 |
| ③ 本県の魅力を世界へ広めるため、海外メディアでの情報発信やSNSを活用したデジタルマーケティング等により、本県の多様な地域・観光資源について話題化を促進します。【政策16施策(1)④再掲】 | 営業戦略部 |
| ④ 農林水産物や加工食品、工業製品等の新たな市場を開拓するため、海外での販売促進活動を支援するとともに、現地メディア関係者等に対して魅力を直接発信する取組等を推進します。【政策16施策(1)⑤再掲】 | 営業戦略部 |

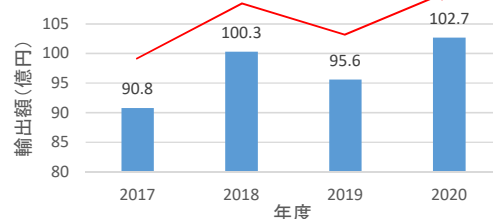
工芸品に係る海外販路開拓の取組



東南アジアでのかんしよの販売促進



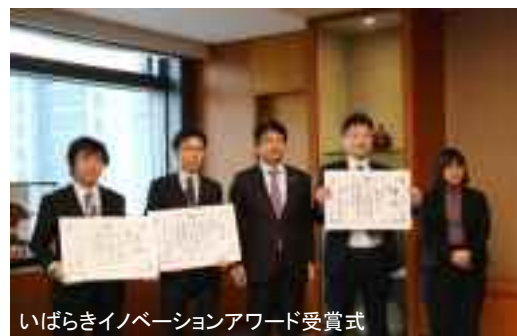
農林水産物及び工業製品等の輸出額



施策（２） 世界に挑戦するベンチャー企業の創出（茨城シリコンバレー構想）

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|----------------|
| ① ベンチャー企業の創出・育成のため、技術シーズの発掘から定着までの一貫支援や、起業家や投資家、研究者などの交流機会の設定により、スタートアップ・エコシステムを構築します。 | 産業戦略部 |
| ② 企業の新商品・新技術開発を促進するため、試験研究機関や大学等との共同研究に取り組むとともに、開発から販売戦略まで一貫して支援します。 | 産業戦略部 |
| ③ 宇宙関連ベンチャーの創出・立地と、県内企業の宇宙ビジネスへの参入を促進するため、国や宇宙航空研究開発機構（JAXA）等と連携した取組を推進します。 | 産業戦略部 |
| ④ 科学技術イノベーション分野を担う人材を育成するため、ワークショップや科学の甲子園茨城県大会の開催等により、生徒等に理工系分野への進学を促す機会を提供します。 | 産業戦略部 教育庁 |
| ⑤ 世界のイノベーションをリードするグローバル拠点都市を目指すため、つくばに多くの研究機関が集積する強みを活かした魅力あるまちづくりに取り組みます。 | 政策企画部 産業戦略部 |

〇いばらき宇宙ビジネスセミナー 創出取組事例



〇いばらき宇宙ビジネス支援事業による新規参入例

IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

政策18 若者を惹きつけるまちづくり

これまでの成果

- ◆全国トップクラスの補助制度の創設などにより、成長分野の本社機能等の誘致を強力に進めた結果、多くの最先端分野の本社・研究開発拠点の立地を実現
- ◆2018年から2020年の3年間で外資系企業による投資を15件誘致。2020年には「スタートアップビザ制度」を導入し、海外の優れた技術や人材の誘致を進めた結果、外国人起業家が宇宙ロケット開発会社を設立
- ◆大学等が持つ最先端の技術シーズを活かした事業化プランの作成支援を通じて、2018年度からの3年で6件の起業を達成



「スタートアップビザ制度」
証明書交付

今後の課題

- 本社機能や研究施設をはじめ、生産拠点など、若者が望む様々な雇用の創出が求められています。
- 多様な就労環境や安心して就労できる環境などを提供することにより、東京圏等から本県への新しい人の流れを作っていくことが求められています。
- ライフスタイルや価値観が多様化するなか、県民がそれぞれの余暇を楽しむことができる機会や環境が求められています。
- 学生の創業機運を更に醸成するためには、先輩起業家や投資家など、様々な方との交流機会を提供していく必要があります。

施策（1） 若者に魅力ある働く場づくり

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|--------|
| ① 様々な分野の雇用を生み出すため、今後大きな成長が見込まれる産業の本社や研究開発拠点等を積極的に誘致し、新たな産業基盤づくりを推進します。【政策1施策(1)①再掲】 | 立地推進部 |
| ② 雇用とイノベーションの創出を図るため、海外に向けた投資環境のPRや県内企業等とのビジネスマッチングの機会創出により、外資系企業による投資を促進します。【政策1施策(1)②再掲】 | 営業戦略部 |
| ベンチャー企業の創出・育成のため、技術シーズの発掘から定着までの一貫支援や、起業家や投資家、研究者などの交流機会の設定により、スタートアップ・エコシステムを構築します。【政策17施策(2)①再掲】 | 産業戦略部 |
| ④ UIターンを促進するため、大学や産業界等と連携して、県内企業の仕事・魅力発信や特色あるインターシップ等に取り組み、本県への新しい人の流れを創出します。 | 産業戦略部 |

いばらき就職チャレンジナビ



いばらき1Day仕事体験



企業の採用力強化支援



施策（２） 若者を呼び込む茨城づくり

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|---------------------------|
| ① 移住や二地域居住を促進するため、市町村と連携し、移住者の受入環境の整備等に取り組むとともに、移住希望者と地域が継続的なつながりを持つ機会を提供します。 | 政策企画部 |
| ② 多様化するニーズに対応するため、自然を活用したアウトドアレジャーやロケ地を巡るツアー、本県の文化を学べる体験コンテンツなど、新たな観光づくりを推進します。【政策4施策(1)④再掲】 | 政策企画部 県民生活環境部 営業戦略部 |
| ③ 自然体験や都市農村交流による誘客促進のため、体験・交流施設を活用したレジャーや体験プログラムの提供、施設に関する情報発信及び指導者の育成等を促進します。【政策4施策(1)⑤再掲】 | 営業戦略部 教育庁 |
| ④ 県民がスポーツに親しみ、充実した余暇を楽しむことができるよう、都市公園の魅力向上を図るとともに、県営体育施設の整備を推進します。【政策14施策(2)④再掲】 | 土木部 教育庁 |
| ⑤ 新しい生活様式においても、県民が集い、多様な生活を楽しむことができるよう、本県の地域資源であるフード、音楽、スポーツ、アウトドアなど大規模な大会、イベント、お祭りなどの開催、実施環境の整備を通じ、遊びある楽しい生活スタイルの創出に取り組みます。【政策14施策(2)⑤再掲】 | 全部局 |

移住促進の取組事例



移住情報サイト「ちよいなかStyle」

いばらき都市緑化フェスティバル



移住・関係人口創出の取組事例



自然を活かしたレジャー

IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

政策19 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

これまでの成果

- ◆「茨城県オープンデータカタログサイト」の公開データ数が2021年3月現在で530データセットとなり、2018年3月現在の186データセットから2.8倍に拡充。
- ◆中心市街地の渋滞緩和や過疎地域における公共交通の維持・移手段の確保など交通面の課題解消を目指し、産学官連携のつくばスマートシティ協議会において、先端モビリティ等による課題解決モデルの構築に向けた実証実験を実施。
- ◆国のGIGAスクール構想の前倒しに合わせて、令和2年度内に、1人1台端末等の環境整備を完了。
- ◆ITに関する人材育成として、2020年度からは実践的なスキルを学ぶ「いばらき高度IT人材アカデミー（データサイエンティスト育成講座）」を開講。



DXイノベーション推進プロジェクト

今後の課題

- 急激な人口減少や少子高齢化など多くの困難に直面する中、AIやIoT、ビッグデータなどの急速に進展するデジタル技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、社会課題を解決することが求められています。
- デジタル技術の活用に向けた、情報システムやオープンデータ等の整備、人材育成など環境の充実が求められています。
- 県民があらゆる行政手続きをいつでもどこでもオンラインでできるとともに、職員が効果的かつ効率的に仕事に取り組み、県民のためにより価値のある行政サービスを将来にわたり持続可能な形で提供する「スマート自治体」の実現に向けた取組みの推進が求められています。

施策（1） 先端技術による社会変革やデータの活用の加速化

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|---|--------------|
| ① 企業の競争力を強化するため、デジタル技術を活用できる人材の育成などに取り組むことにより、新分野進出やビジネス創出を促進します。 | 産業戦略部 |
| ② デジタル社会で活躍する人材を育成するため、ICTを活用した教育の充実など、GIGAスクール構想の実現に向けて取り組み、教育の質の向上を図ります。 | 教育庁 |
| ③ データの利活用によるビジネスの活性化のため、ビッグデータの分析等の講座や、県立高校及び短大での産学官連携プログラムを実施し、デジタル革命を担う高度IT人材育成を推進します。【政策1施策(3)③再掲】 | 産業戦略部 教育庁 |
| ④ 民間企業等による多様なサービスを創出するため、庁内で保有するデータのオープンデータ化やデータへの提案・要望による改善を推進し、オープンデータの充実と利活用に取り組めます。 | 政策企画部 |
| ⑤ 安全・安心・快適な移動を実現するため、公共交通の運行データ等のオープン化を促進し、MaaSなどの利活用につなげます。 | 政策企画部 |
| ⑥ 脱炭素社会の実現のため、省エネ行動による二酸化炭素排出削減量の見える化に取り組み、県民や事業者等の省エネの取組を促進します。 | 県民生活環境部 |

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|---|------------|
| ⑦ 農林水産業の成長産業化のため、ICTやAI、ロボット技術等を活用した効率的な農林水産物の生産技術の開発・導入を促進し、スマート農林水産業の実現に取り組みます。 | 農林水産部 |
| ⑧ 建設分野における生産性の向上や社会インフラの維持管理の効率化・高度化を図るため、建設プロセス全体でICTやAI等のデジタル技術の活用を推進します。 | 土木部 企業局 |
| ⑨ DXの取組を加速化するため、身近な課題をデジタル技術で解決し、県全体としてDXの機運醸成に取り組みます。 | 全部局 |

施策（２） スマート自治体の実現に向けた取組みの推進

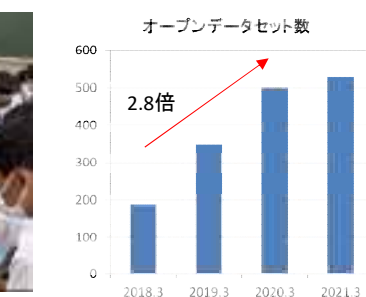
| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|--------------|
| ① デジタル技術を活用し、県民の利便性や業務効率化などによる行政サービスのさらなる向上を図るため、市町村の行政手続きのオンライン化や基幹システムの標準化を推進します。 | 政策企画部 |
| ② 誰もがホームページやウェブサービスを利用できるよう、県が提供するウェブサイトのアクセシビリティの確保などにより、デジタルデバイドの解消に取り組みます。【政策20施策（２）③再掲】 | 政策企画部 |
| ③ 民間等のノウハウを積極的に活用し、県庁業務のさらなる効率化を図るため、これまで以上にデジタル技術を活用した業務改革を進めるとともに、独自にシステムを保有しないなど費用対効果に優れた業務システムの利用を推進します。【第４部政策２再掲】 | 総務部 政策企画部 |
| ④ 前例にとらわれずデジタル技術を活用して行政課題を解決できるよう県職員の意識改革に取り組むとともに、デジタル技術に関する知見を持ち現場の実態に沿った導入を進めることができる人財を育成します。【第４部政策２再掲】 | 総務部 政策企画部 |
| ⑤ 県民がDXの恩恵を実感できるよう、県民目線でデジタル技術を活用した県庁の業務改革を進め、県民サービスの充実を図ります。【第４部政策２再掲】 | 総務部 政策企画部 |



建設現場でのICT活用



位置情報と設計データを基に、建設機械を半自動制御し、施工を効率化



政策 20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

これまでの成果

- ◆茨城港常陸那珂港区におけるコンテナ取扱貨物量が、過去最高となる47,539TEU（2020年）となり2017年（29,827TEU）比約1.6倍を達成
- ◆バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化を進め、63.1%(2017)に対し、70.5%(2020)のバリアフリー化が完了
- ◆立地適正化計画について、2020年度末時点で24市町村が策定・公表しているところ、2021年度に6市町村が策定完了し、2027年度の目標値（30市町村）を達成



茨城港常陸那珂港区

今後の課題

- 本県の発展基盤である陸・海・空の広域交通ネットワークの形成・充実が求められています。
- 国内外のさまざまな地域との玄関口となる港湾・空港のさらなる利活用が求められています。
- ハード面（バリアフリー化、歩行空間の確保等）及びソフト面（住民サービスの向上等）の取り組みにより、安心して快適に暮らせる人にやさしいまちづくりが求められています。
- 地域特性を最大限活用し、「住みたい・住み続けたい」と思える、魅力あるまちづくりが求められています。

施策（1） 未来の交通ネットワークの整備

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|-------------------------------|
| ① 高速道路ネットワークの形成のため、東関東水戸線の全線開通や圏央道の4車線化の整備を促進するとともに、東関東水戸線の鹿嶋・神栖方面への延伸に向けて検討します。 | 政策企画部 土木部 |
| ② 高速道路のアクセス性向上等を図るため、スマートICの新設を促進するとともに、アクセス道路の整備を推進します。 | 土木部 |
| ③ 都市地域間のネットワーク強化や地域の拠点へのアクセス強化のため、筑西幹線道路や県北地域高規格道路など、広域的な幹線道路の整備を推進します。 | 政策企画部 土木部 |
| ④ 交通の円滑化を図るため、交通管制システムにより制御できるエリアの見直しやICT等を活用した渋滞対策等を推進します。 | 政策企画部 土木部 警察本部 |
| ⑤ つくば経済圏と県央・県北地域の広域的な交流を促すため、TXの県内延伸や（仮称）茨城縦貫幹線道路（つくば-笠間-大子）の整備に向けて検討します。 | 政策企画部 土木部 |
| ⑥ 東京圏と県南・県西地域の交通ネットワークを強化するため、TXの東京延伸や地下鉄8号線の県内延伸に向けた検討を行うとともに、都市軸道路の整備を推進します。 | 政策企画部 土木部 |
| ⑦ 移動に係る社会課題の解決を図るため、新たな移動手段の研究開発及び実用化に必要な実証試験の実施等を支援します。 | 政策企画部 産業戦略部 土木部 警察本部 |
| ⑧ 茨城空港の利活用を促進するため、チャーター便を含めた路線の拡充や既存路線の一層の利用促進を図るとともに、空港を核とする地域の賑わい拠点づくりを推進します。 | 営業戦略部 |
| ⑨ 首都圏のニューゲートウェイ創出のため、茨城港・鹿島港の防波堤や岸壁の整備を進め、経済・産業を支える物流拠点等としての港湾機能の強化を推進します。 | 土木部 |
| ⑩ 港湾の利用促進を図るため、ポートセールス等を積極的に推進し、取扱貨物量の増加や定期航路の拡充、開設等を推進します。 | 立地推進部 土木部 |

施策（２） 人にやさしい、魅力あるまちづくり

| 主な取組 | 主な担当部局 |
|--|-------------------------|
| ① 健康で快適な生活や持続可能な都市経営を確保するため、スマートシティや都市機能の集約と地域間の連携（コンパクト+ネットワーク）に取り組みます。 | 政策企画部 産業戦略部 土木部 |
| ② 安心して快適な生活を送ることができるよう、安全な歩行空間の確保、公共施設のバリアフリー化及び住宅・住環境の整備を推進するとともに、安全で快適な質の高い住まいの供給を促進します。 | 保健福祉部 土木部 |
| ③ 高齢者や障害者も含め誰もがホームページやウェブサービスを利用できるよう、県が提供するウェブサイトのアクセシビリティの確保などにより、デジタルデバイドの解消に取り組みます。 | 政策企画部 営業戦略部 |
| ④ 地域の継続的な振興を図るため、市町村や民間等と連携しながら、古民家、廃校等の地域資源・財産を活用し、魅力的なまちづくりに取り組みます。 | 政策企画部 立地推進部 教育庁 |
| ⑤ 地域の魅力や活力を向上させるため、お祭りなど文化的資産の集約や文化財指定等を進めるとともに、歴史的建造物など文化的資源や筑波山など自然環境の有効な活用に取り組みます。 | 政策企画部 教育庁 |
| ⑥ 地域の活性化を図るため、プロスポーツクラブ等との連携や、若手アーティストの招へい等、スポーツや芸術を活用した取組を推進します。 | 政策企画部 県民生活環境部 |
| ⑦ 自転車活用による地域の活性化を図るため、安全・安心な走行環境の整備やサイクルツーリズムなどの取組を推進します。 | 県民生活環境部 営業戦略部 土木部 |
| ⑧ 快適で美しい街並みや人々のレクリエーション・交流空間を創出するため、都市公園等の整備を通じ、地域の魅力を活かしたまちづくりを推進します。 | 土木部 |

都市公園の魅力向上
(ムラサキパークかさま)



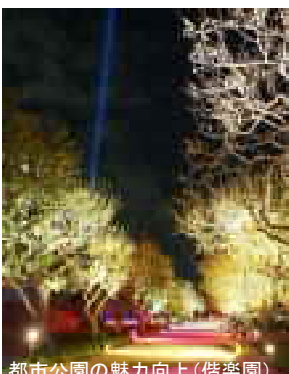
茨城空港



鹿島港



茨城空港アクセス道路



都市公園の魅力向上(借楽園)



つくばエクスプレスとまちづくり

【コラム】 カーボンニュートラル